

◆ 大会組手試合規定

* ホームページで最新ルールを必ず確認してください。



審判基準

SJC2020試合ルール JPN武術空手道協会に準じて行います。

*** 本大会に限り、安全対策として、特別ルールを設定しました。**

最重要事項: 上段攻撃禁止（上級クラス除く）、全クラスのヘッドギア着用自由化
試合中の飛沫感染予防マスク着用義務。（スポーツマスク推奨）

有効な技	手 技	中段への拳突き・肘打ち・手刀
	足 技	前・後蹴り、前・後廻蹴り・横蹴り 【感染予防対策措置】上級クラスのみ上段攻撃あり
無効な技 (反則含む)	手 技	掴み・引っ掛け、押し。体に掌底、鉄槌、貫手、孤拳、腕刀での攻撃。（受身除く）
	足 技	逆関節への攻撃、下腹含む金的。【感染予防対策措置】 <u>全ての</u> 上段攻撃（上級クラス除く）

*** 試合時間別紙参照（延長戦前給水）**

試合の勝敗

- 勝 利 一本勝ち・判定勝ち・相手側の失格行為による、反則勝ち。
- 一本勝ち 一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手を戦意喪失させた場合。
一、「技あり」2回で一本勝ちとする。
- 技あり 一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手が一時的に止まった場合、または、その攻撃で倒れた場合。
一、【上級者のみ】上段蹴りは顔面へのライトコンタクトを認めます。
一、中段蹴りがタイミングよく決まり、相手が倒れたり、動きが止まって直後に相手に残心を決めた場合。
一、足払いを含む下段蹴りがタイミングよく決まり、相手が倒れたり、動きが止まって、直後に残心を決めた場合。
- 判 定 一、一本勝ちの決まらない時は判定で勝敗を決め、引き分けの時は延長戦を行なう。
* 三位決定戦や決勝戦は再延長戦をおこなう。
一、延長戦（再延長）でも引き分けの場合は、明らかな体格や体重の差も含め、優劣をし、絶対判定とします。
* 再延長戦は、三位決定戦、決勝戦に限る。
- 反 則 一、頻繁に手技による頭、顔面、首への攻撃は注意1とする。
一、感染予防対策措置の為、上級クラス以外の上段攻撃は禁止です。
上段を蹴った時点で警告となり、防御を含めて当たった場合は注意となります。
一、上級クラスの上段への膝蹴りは禁止。
一、頭部や身体を密着しての攻撃。又、突きが出来ない間合いだと審判が判断した場合は、「待て」とし、引き離します。
一、場外へ逃げた（攻撃でのダメージ含む）場合。（3回目で減点1とする）
一、手技足技を出した後、相手に攻撃をさせない為、故意に倒れ込む。
「掛け逃げ」と判断された時。
一、審判団の判断で悪質な反則攻撃や悪質な試合態度とみなされた時は即座に失格。
一、反則は注意2回で減点1とし、3回目の注意で失格とする。
一、選手の応援者が審判団や相手選手への中傷、罵声、暴言等をした場合は応援側の選手に対して減点又は失格。（対戦相手には敬意を持ちましょう）
* 「技あり」と「減点1」は相殺する。



特 記

- ① 男子は胴衣上半身に下着着用は不可。女子は1枚（白か黒）とします。【清潔な物とします】
- ② テーピングは、怪我報告し、許可制とします。
- ③ サポーターは、布製のみに限る。【清潔な物のみ。臭いが強い場合は交換を命じます】